

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

宝積飲料株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町別府2061-3

(3) 業種

清涼飲料水の製造 1011

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成27年度を基準年度とし、平成28年度から平成32年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 環境に関連する法規・協定等を遵守し、可能な場合には自主基準を設定して維持・改善に取り組みます。
2. 汚染予防を含む環境保護を継続的に推進するため、環境目標を設定し、必要に応じて見直しを行います。
3. 生産工程において環境に配慮し、企業活動の全てにおいて省資源・省エネルギー・リサイクル・廃棄物の低減に取り組み、環境負荷の低減並びに汚染の予防に努めます。
※ISO14001のシステムを活用し、目標を設定し、毎月の環境委員会で進捗管理します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成28年度
二酸化炭素		4,530	4,744

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成28年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成27年度	平成28年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)	削減目標		目標年度 (平成32年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
フロン類				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		-		0
目標設定の考え方				

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産量(1000t)

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	基準年度 (平成32年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,530	23,614	0.19	10.5	4,000	24,000	0.17
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	4,530	23,610	0.19	10.5	4,000	24,000	0.17
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	84.88	8.1	-	-	78.00
目標設定の考え方	生産数量が毎年減る中で、生産数量を維持し、効率生産、設備投資を実施することで、目標達成をめざします。						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	設備投資	CO2 300 t/年 削減	高効率のボイラーを設置する (平成30年1月実施済)
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

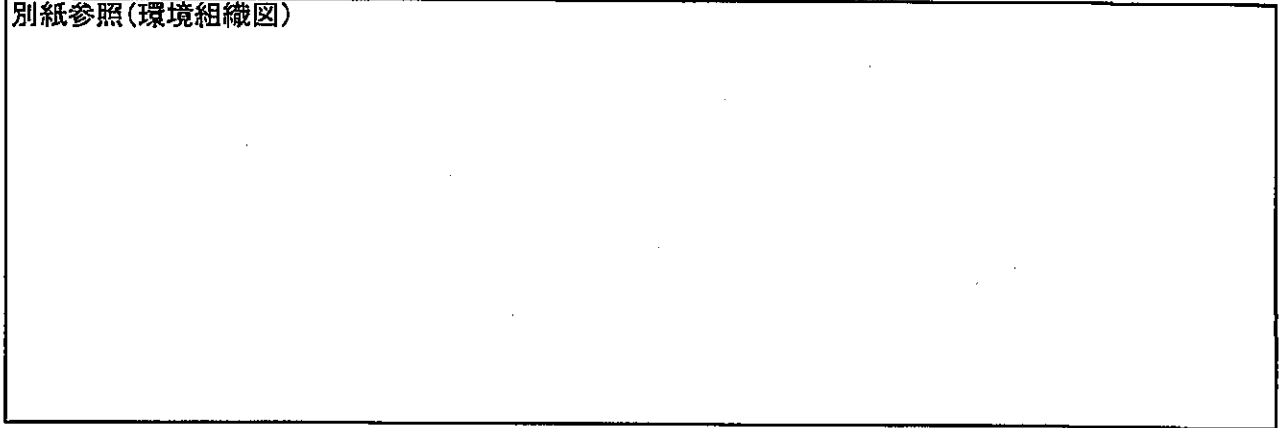
	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	生産計画の見直し		生産ロットを取りまとめ、効率の良い生産をする
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

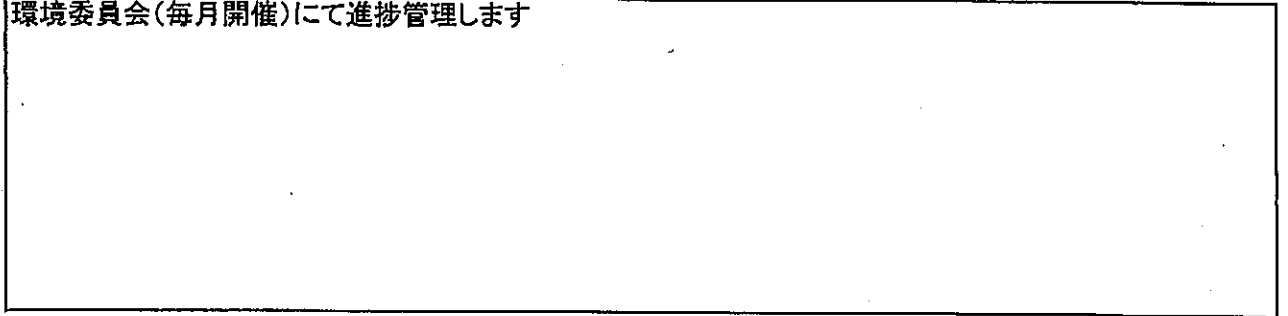
(1) 推進・点検体制

別紙参照(環境組織図)



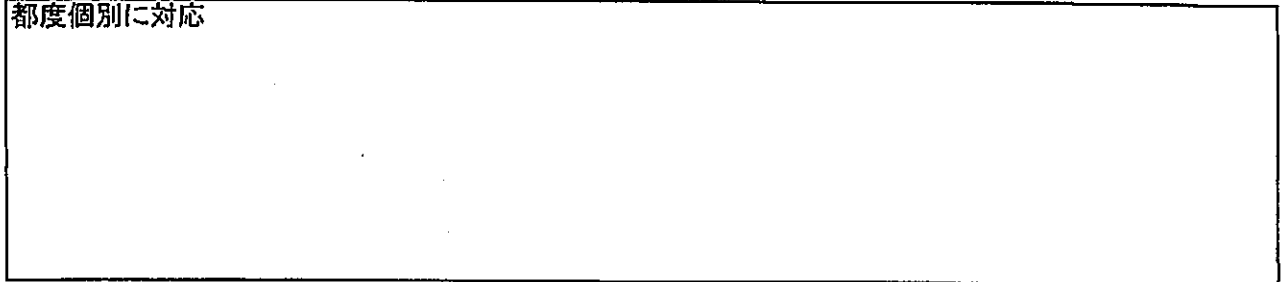
(2) 実施状況の点検・評価

環境委員会(毎月開催)にて進捗管理します



(3) 計画書等の公表

都度個別に対応



付属-1
環境組織図

